
ハローワーク前夜、といえないこともない。

七色ちきん

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

ハローワーク前夜、といえないこともない。

【Nコード】

N7489K

【作者名】

七色ちきん

【あらすじ】

上司とケンカした男をなぐさめる彼女の話。
居酒屋で、くだらなくと愚痴をきく。

「俺、ピアスあける。」

鳥山がそう言った。

麻布の居酒屋だった。

「なんで？」

私が問う。

「先週さ。上司とケンカしたんだよね。」

え？話とぶ？

「俺、まちがってないとおもっただよね。」

うちの上司さ、3時くらいになると外出するんだよ。」

「お客さんとか？外出。」

「と、おもっただろ？」

ちがうんだよ。外出って書いてそのまま家かえってんだよ。

1週間に2、3回やるんだよ、毎週。

おかしいだろ？上司だからって、周りがなんもいわねえからって、それはおかしいだろ？

それにさ、昼飯くいにいくのに、社用車つかうんだよ。ずるいだろ？

しかも店が混んで注文がなかなかでこなかった、なんて理由で1時間も昼休み延長して帰社するってどうなんだよ。1時間だぞ？

そんな言い訳小学生だって笑い飛ばすよ。つつかさ、混んでる店にあえて入るなよ、勤務中に。だろ？」

「すごい会社に就職しちゃったね。」

「俺は、言っちゃったよ、その上司に。」

「・・・言っちゃった？なにを？」

「言っちゃった？なにを？」

「おかしいだろうって。お前おかしいだろうって。」

俺は、言っちゃったよ、と息巻く鳥山。

呆然とする私。

「ばかじゃないの？」

「そうだよ、ばかな上司なんだよ。」

ばかなのはトリくんだと思うよ、とは言わない私。

俺は、まちがったことは言っていないんだよ、と酒飲む鳥山。

社会人としては間違ってるよね、と飲み込む私。

「俺はさ、がんばって当然のことや、我慢して当然のことや、守って当然のことが出来ないやつが本当にいやなんだ。」

「そうなんだ。」

「そんなやつがただ上司ってだけで偉そうにしてるのを見るとほんとに吐き気がするんだよ。」

「そうだね。」

「そんなやつの下でまじめに働く必要がどこにある？」

「ないと思うよ。」

「俺はさ、今現在働くこと蟻のごとしだよ。」

「どんまいー。」

「そいつがさこれ以上態度を改めないなら俺だって自分の好きにやっていいと思うんだ。」

「そうだね。」

「だから、俺はピアスをあける、ってあいつに言っただよ。」

・・え、そこにつながる？

「あいつが社会人のマナーをマナーを守らないなら、俺だって守る必要はないだろ。」

そういうことではないとおもっけど。

「それで？それでどうなったの？」

「もう会社こなくていいってさ。」

ほんと不条理だと思わないか？

「思っけど。トリくんは、後悔してないの？」

「やっぱり後悔するところだとおもつか？」

目を泳がせながら鳥山が問う。

そりゃおもっよ、とは言わない私。

「明日からハローワークがんばろうね。」

だいじょうぶ、人が何で救われるかは私にはわからないけど、トリ

くんだけは私が救うよ。

「どんまい、トリくん。」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7489k/>

ハローワーク前夜、といえないこともない。

2010年10月20日18時13分発行